

府中校 たまねじトピックス



新年のご挨拶

東京都立多摩職業能力開発センター府中校長 森高 登志夫

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

東京地方は、1月8日の成人の日以降、強い寒波に見舞われましたが、年末年始は比較的穏やかな日々が続き、皆様におかれましては、良いお正月を過ごされたことと存じます。

現在の東京の雇用情勢(29年12月15日発行)について、2017年7～9月期における完全失業率は、前年同期と同水準の2.7%となりました。また、2017年10月の有効求人倍率は、前月と比べ0.03ポイント上昇し、2.10倍となり、全国ベースでも前月から0.03ポイント上昇し1.55倍と改善されました。

しかし、有効求人倍率は、建設業、医療・介護系が極めて高く、オフィス事務が低いなど業種によって大きな差異があります。

一方、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)の進化は、雇用形態や産業基盤だけでなく、動物ロボットやドローンなどにみられるように人々の暮らしの様相についても、今後、大きな影響をもたらすこととされます。今年、AIやIoTを活用したどのような新製品やシステムが出現してくるか、注目していきたいと思えます。

さて、今年は、世界的なスポーツイヤーであり、2月韓国において平昌2018オリンピック、3月は同じくパラリンピック、そして6月にはサッカーワールドカップがロシアで開幕いたします。わが国では、今後、ラグビーワールドカップ2019が予定されています。さらに2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功等に繋がるように、東京都は、一昨年12月に「2020年に向けた実行プラン」を策定し、「人が生きる、人が輝く東京」を目指し、都政を強力に進めていくための道筋を示していくプランを着実に進めています。

最後に府中校では、昨年4月から、45歳以上の方が、学びやすいよう訓練期間3か月間の「クリーンスタッフ養成科」が発足しました。オフィスやハウスをきれいに保つ清掃のプロを目指しています。「上級救命技能認定証」も取得できます。また、一昨年7月に設置いたしました「生活支援サービス科」も引き続きよろしくお願いいたします。家事と介護で家庭を支える生活支援のプロを目指します。「介護職員初任者研修」の資格等が得られます。この様に府中校は、伝統ある電気関係の科目の充実だけでなく、超高齢社会に適合した科目や都市型産業の訓練科目を取り入れ、人材養成に全力を尽くしてまいります。

さらに在職者の方々に対する「人材育成プラザ」の適切な運営にも心がけ、地域の企業や働くの方々等の役に立てればと願っております。

なお、平成30年1月10日(水)～2月2日(金)まで平成30年4月入校生の募集を行っております。本ホームページに募集の詳細が記載されております。